

【2018年度 事業計画】

I 事業の実施方針

パリ協定の発効で、世界は化石燃料に依存しない「脱炭素社会」の実現をめざし、再エネ100%社会に向けて舵を切りました。しかしながら、日本政府の施策は、石炭火力発電所建設や輸出、原発再稼働など私たちが希求する方向からはずれ、世界の流れからも取り残されています。電力システムの改革はまだ途上、再エネ、特に太陽光発電の広がりが鈍化している今の状況を、市民としてどう受け止めたらよいのでしょうか。再エネを軸とした社会となるには、まだ多くの課題があり時間が必要ですが、温室効果ガスの削減と経済成長は相反した目標ではありません。

私たちは、地球温暖化防止と共に原子力を利用しない社会をめざして、さまざまな制度に柔軟に対応しながら、「おひさま発電所」づくりを丁寧に、取り組みます。

- ① 市民が関わって設置を進める共同発電所として定着してきた「おひさま発電所」づくりを進めます。対象施設を広げ、多くの市民と共に他団体や企業との連携で、地域づくり・まちづくりにつなげます。
- ② 市民と共に再エネ100%をめざす新電力と協力・連携して再エネを広げる枠組みをめざします。
- ③ 意識と行動の変化を促し、担い手を育てるための環境学習を広げます。
- ④ 「おひさま発電所」となった施設との協力、連携を活かし、地域住民へも働きかけを広げます。
- ⑤ 上記の活動を達成するため、さらに会員の拡大にむけて努力を続け、会員の参加、交流を進めます。
- ⑥ 認定NPO法人の制度を活用し、財政基盤の強化につとめます。

II 特定非営利活動に係る事業

太陽光発電設備設置事業

寄付、おひさま基金、設置協力金、補助金などを組み合わせた柔軟な仕組みで、「おひさま発電所」の設置をめざします。地域団体や企業など他団体との連携で、避難所の整備としての観点も加え、対象施設の拡大、新たな枠組みを模索します。「おひさま基金」についても新たな協力、連携を進め、さらに基盤強化を図ります。

再エネ100%社会実現を目指す事業

「自然エネルギー100%プラットフォーム」の賛同団体になります。また、市民共同発電所と協力して再エネ100%社会を目指している新電力との協力・連携を行います。

学習活動

2018年度も平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」の助成を受けて、「おひさま発電所」設置施設にとどまらず実施していきます。

- ① 子どもたちに向け、環境腹話術・自然観察会などのプログラムを各施設に提供します。
- ② 施設の職員対象に、環境への意識改革と行動を促す内容の研修会を実施します。
- ③ 環境学習等の機会をとらえて、「おひさま発電所」見学会を開催します。

サポート活動

- ① 上鳥羽北部いきいき市民活動センターに対する環境活動をサポートします。
 - ・上鳥羽北部いきいきおひさまプロジェクト「いきいきおひさまウィーク」
 - ・かみとばグリーンカーテンプロジェクト
 - ・「夏の夜市」（自治連合会と共催）をはじめとする地域の各種イベントでのエコ活動サポート
 - ・エコロジーセンター（上鳥羽版）設置サポート
- ② 他府県、他団体のおひさま発電所設置に関するサポートやアドバイス

広報活動

- ① ニュースレターの発行
年2回程度発行し、きょうとグリーンファンドの活動・温暖化やエネルギーなどに関する情報や会員相互の親睦を図る記事を会員・一般市民に提供します。
- ② 各種催しに参加
環境問題・エネルギーなどに関するイベントや地域の催しに参加して活動を紹介し、理解と協力を求めます。他団体との連携も広げます。
- ③ ホームページなどを使った情報発信
 - ・きょうとグリーンファンドの活動状況をきめ細かく発信できるよう内容を更新します。
 - ・上鳥羽北部いきいきおひさま発電所設置後の活動を紹介します。
 - ・ホームページのアクセス解析などを把握し、今後に活用します。

協力・連携

「気候ネットワーク」「環境市民」「京都府地球温暖化防止活動推進センター」「京エコロジーセンター」「京のアジェンダ 21 フォーラム」「自然エネルギー学校・京都」「K E S 環境機構」「京都グリーン購入ネットワーク」「国際ソロプチミスト京都ーわかば」「中唐戸児童館運営委員会」「京都市上鳥羽北部いきいき市民活動センター」「ネオス株式会社」「株式会社シェアリングマネジメントサービス」「eco ット宇治」「パワーシフト・キャンペーン」「Gochiso 株式会社」「パブリックリソースセンター」「有限会社ひのでやエコライフ研究所」以上の団体と協力・連携し活動を推進します。